



タオルを通じて
生産者のお手伝い
育む

いっしょに



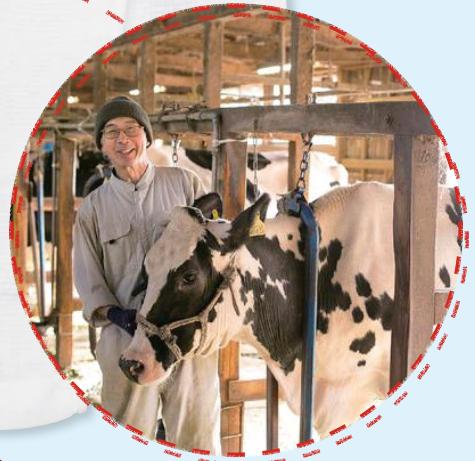
どうしてタオルを贈るの?

パルシステムの牛乳は、殺菌温度を低く抑えて、生乳の風味をより生かした牛乳。産地では乳を搾る前に乳房をきれいにふいたり、牛舎や搾乳機械を清掃して衛生管理につとめています。ここで欠かせないのが清潔なタオル。毎年組合員より温かいメッセージとともに届けられるタオルはおいしい牛乳作りに役立っています。

タオルを贈る

安全でおいしい牛乳作りのために!

産地と
つながる
日ごろの思いを
メッセージで届けよう



タオル贈呈式も
行います

体験・学習・交流・遊び
産地へ行こう。

参加者募集中!

家族そろって!牛とふれあう夏休み。
夏の北海道「こんせんくんのふるさとで酪農体験」ツアー

パルシステム初の産直牛乳

『こんせん72牛乳』や『こんせんプレーンヨーグルト』でおなじみの日本でも有数の広大な酪農地帯である北海道根釧地区を訪問。ツアーでは酪農家さんのお宅での仕事体験やバター作り、仔牛への哺乳体験など北海道の酪農にどっぷりかかる3日間です。



ココに注目!



バター作り体験

『こんせん72牛乳』の産地の取り組みは、Webサイト「KOKOCARA」でもご覧いただけます。

※現地での状況によりツアー内容を変更することがあります

※写真はすべてイメージです



仔牛への
ミルクやり



産地 JA阿寒、JAくしろ丹頂
(白糠、音別)

2泊3日 2017年7月22日(土)~24日(日)
(羽田空港10:45集合/17:00解散)

旅行代金(税込)
大人(12歳以上) 47,800円
子ども(6歳以上12歳未満) 37,800円
※6歳未満の参加はできません
※中学生以下は成人の保護者同伴

受付 6月11日(日)まで

※ご応募多数の場合は抽選となります。

詳しくは
Webへ!
<http://www.pal-system.co.jp/tour/>
検索

申し込み・
資料請求は
コチラ!
0570-076-888
(株)農協観光 コールセンター
受付時間／月~金 9:00~19:00
土・日・祝日 10:00~18:00

旅行企画・実施／観光庁長官登録旅行業第039号 株式会社農協観光 首都圏支店 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル 総合旅行業務取扱管理者 橋村健治 JATA正会員 ボンド保証会員 旅行業公正取引協議会会員

第32回 タオルを贈る運動

タオル・メッセージの回収期間
2017年5月1日(月)~
5月12日(金)

第32回 タオルを贈る運動

1985年からのべ230万枚!

1981年に「こんせん牛乳」が誕生した当初は超高温(120°C)で殺菌したものでした。その後、よりおいしい生乳の風味をいかした牛乳の生産が始まりました。しかし産地では、低温殺菌の生産を実施するため、現場をつねに清潔に保つ必要がありました。生産者が毎日大量のタオルを必要とすることを知った組合員が、タオルを集めて生産者のお手伝いができるかと考え、1985年に「タオルを贈る運動」がスタートしました。去年はタオル73,629枚、メッセージ5,509通が組合員から寄せられました。



「おいしい牛乳をお届けできるようがんばりたいと思います」

毎年タオルを送っていただきありがとうございます。酪農現場ではタオルをたくさん使うのでとても助かっています。組合員のみなさんからの心温まるメッセージも大変うれしいです。これからもおいしい牛乳をお届けできるようがんばりたいと思います。

『こんせん72牛乳』の生産者
浅野達彦さん(北海道釧路市)



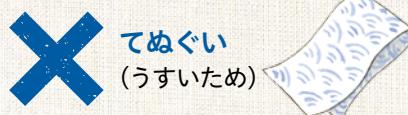
色 白がベスト

(牛の乳房などをふいているときに出血などがわかるため)

色柄物でも構いません
(作業用具などの清掃に使います)

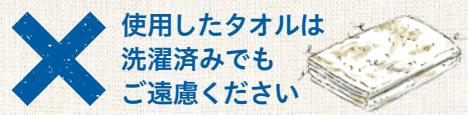


大きさ フェイスタオルが ベスト バスタオル・ ボディタオルもOK



未使用 のし紙や袋は そのまま 大丈夫

(未使用だとすぐにわかるため)



メッセージを贈る牛乳を○で囲んでください。



メッセージを贈ろう

[ご提出方法]

メッセージ、所属センター名を記入し、本用紙をタオルといっしょに保冷箱に入れて提出してください。

※回収期間は5/1(月)～5/12(金)。この期間以外は回収できません。出し忘れにご注意ください。

ご利用の生協名・センター名：パルシステム

・

センター

【

】枚のタオルを贈ります